

平成16年5月11日

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

麦類赤かび病の発生状況（技術情報第1号）について（送付）

1. 麦類赤かび病の発生状況の概要（別紙1、2）

小麦では、平均発病穂率2.2%（平成5.2%）、発病度0.4（平成0.9）と昨年より少なく平成並の発生となっています。病徴は軽いものがほとんどですが、発生圃場率74.1%（平成51.8%）と発生が認められた圃場の割合はやや高くなっています。

大麦では発生圃場率28.6%（平成26.8%）であり、平均発病穂率1.1%（平成0.4%）、発病度0.2（平成0.1）と平成並の発生となっています。

2. 赤かび病被害粒の取り扱いについて

収穫においては、赤かび病被害を受けた麦と健全な麦との仕分けを行い、被害粒の混入を防止します。また、共同乾燥施設では、被害粒の混入を防止するため荷受時にチェックを行い、健全粒と被害粒を別に乾燥する等の仕分けを徹底しましょう。

3. 今後の留意点

現在、赤かび病は平成並の発生ですが、今後の気象により発生が増加することもありますので、出荷する際は赤かび病被害粒に十分留意されるようお願いいたします。

（参考）

- 1) 麦類の病気の一つである赤かび病は、フザリウムというかびが原因であり、かび毒であるデオキシニバレノール（Deoxynivalenol: DON）を作ります。
- 2) 平成15年産麦（大麦を含む）からは、農産物検査規格のうち食用麦の赤かび病被害粒の混入率が、これまでの1.0%から0.0%（1万粒のうち4粒まで）に引き下げられました。また、小麦において一層の安全性を確保するために、DONの暫定的な基準値が1.1ppmと設定されました。

## 別紙1

## 麦類赤かび病の調査結果

調査日 平成16年5月7日

## コムギ

	地点名	発病穂率	発病程度				発病度
			0				
1	玉名市北牟田 1	0	100	0	0	0	0
2	玉名市北牟田 2	10	90	10	0	0	1.7
3	玉名市北牟田 3	2	98	2	0	0	0.3
4	菊池市赤星 1	3	97	3	0	0	0.5
5	" 赤星 2	3	97	3	0	0	0.5
6	" 赤星 3	0	100	0	0	0	0
7	七城町砂田 1	2	98	2	0	0	0.3
8	" 砂田 2	2	98	2	0	0	0.3
9	大津町新 1	4	96	4	0	0	0.7
10	" 新 2	1	99	1	0	0	0.2
11	" 新 3	0	100	0	0	0	0
12	御船町小坂 1	1	99	1	0	0	0.2
13	" 小坂 2	5	95	5	0	0	0.8
14	" 小坂 3	7	93	7	0	0	1.2
15	甲佐町糸田 1	2	98	2	0	0	0.3
16	" 糸田 2	3	97	3	0	0	0.5
17	" 糸田 3	2	98	2	0	0	0.3
18	嘉島町上六嘉 1	0	100	0	0	0	0
19	" 上六嘉 2	1	99	1	0	0	0.2
20	" 上仲間 1	1	99	1	0	0	0.2
21	" 上仲間 2	0	100	0	0	0	0
22	城南町今吉野 1	0	100	0	0	0	0
23	" 今吉野 2	1	99	1	0	0	0.2
24	" 今吉野 3	2	98	2	0	0	0.3
25	富合町新 1	1	99	1	0	0	0.2
26	" 新 2	0	100	0	0	0	0
27	" 新 3	6	94	6	0	0	1.0
	平均値	2.2	発生圃場率 74.1 %				0.4
	昨年値	18.1					3.0
	平年値(5年間)	5.2					0.9

## オオムギ

	地点名	発病穂率	発病程度				発病度
			0				
1	菊池市赤星 1	0	100	0	0	0	0
2	" 赤星 2	0	100	0	0	0	0
3	" 赤星 3	0	100	0	0	0	0
4	七城町砂田 1	0	100	0	0	0	0
5	" 砂田 2	2	98	2	0	0	0.3
6	大津町新 1	0	100	0	0	0	0
7	" 新 2	0	100	0	0	0	0
8	" 新 3	0	100	0	0	0	0
9	" 新 4	0	100	0	0	0	0
10	泗水町福本 1	0	100	0	0	0	0
11	" 福本 2	0	100	0	0	0	0
12	御船町小坂 1	7	93	7	0	0	1.2
13	" 小坂 2	5	95	5	0	0	0.8
14	" 小坂 3	1	99	1	0	0	0.2
	平均値	1.1	発生圃場率 28.6 %				0.2
	昨年値	0.7					0.1
	平年値(5年間)	0.4					0.1

1 1圃場において100穂調査

2 発病程度 0:発病無し :穂の1/3以下が発病  
:穂の1/3~2/3が発病 :穂の2/3以上が発病

3 発病度 = {6 + 3 + / (6 × 調査茎数)} × 100

別紙2

過去の麦類赤かび病の調査結果 (調査日:5月上旬)

コムギ

調査年	発病穂率	発病度	発生圃場率 (%)	備考
63年	32.0	5.0	-	
1年	2.0	0.0	-	
2年	13.3	2.2	-	
3年	21.5	4.3	-	
4年	1.3	1.7	-	
5年	1.3	0.2	-	
6年	41.3	12.7	-	
7年	28.7	4.8	-	
8年	1.7	0.4	-	
9年	6.3	1.3	-	
10年	76.1	22.9	100.0	5/11調査
11年	0.8	0.1	38.9	5/6調査
12年	0.1	0.0	5.0	5/8~9調査
13年	0.2	0.0	15.0	5/7調査
14年	7.2	1.4	100.0	5/7~8調査
15年	18.1	3.0	100.0	5/7~8調査
平年値(5年間)	5.2	0.9	51.8	H11~H15
16年	2.2	0.4	74.1	5/7調査

オオムギ

調査年	発病穂率	発病度	発生圃場率 (%)	備考
63年	64.5	11.3	-	
1年	-	2.9	-	
2年	4.0	0.5	-	
3年	12.0	2.0	-	
4年	2.0	0.3	-	
5年	1.0	0.2	-	
6年	18.0	5.9	-	
7年	34.0	6.0	-	
8年	7.0	1.2	-	
9年	-	-	-	
10年	67.4	16.5	100.0	5/11調査
11年	0.4	0.1	29.4	5/6調査
12年	0.7	0.1	33.3	5/8~9調査
13年	0.1	0.0	7.1	5/7調査
14年	0.4	0.1	28.6	5/7~8調査
15年	0.7	0.1	35.7	5/7~8調査
平年値(5年間)	0.4	0.1	26.8	H11~H15
16年	1.1	0.2	28.6	5/7調査